

第1学年4組 社会科学習指導案

学校名： 飯塚市立飯塚第一中学校

授業者： 池田 友則

1. 単元名「 世界の諸地域 アフリカ州 」 6 / 6 時間

2. 授業のねらい

本単元は、各州の人々の生活についての的確に把握させるための地理的事象をとりあげ、その地域の地理的特色を明確にし、我が国との国土認識を深めることに効果がある。アフリカ州に暮らす人々の生活の変化と自立への課題に着目し、アフリカ州に見られる地球的課題の要因や影響をアフリカ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することをねらいとしている。

そこで本時は、アフリカ州のまとめの課題『今後のアフリカを考えよう』をホワイトボードを用いパネルディスカッションさせる。カメルーン出身の(ALT)テガ先生のアフリカの実情を聞くことで、リアルなアフリカの現状や課題をとらえさせる。前時までの協調学習で得た知識や既習内容を活用し、アフリカ州の地域的特色を捉えて考察させ、表現させる活動を通して、自らの考えを深めさせたい。

なお、本時は単元末のパフォーマンス課題に取り組む授業である。

【本時の主眼】

今後のアフリカについて根拠をもとにまとめることができる。

3. 単元計画 ⇒ 別紙 単元シートで提案

4. 上記の一連の学習で目指すゴール

「アフリカ州」の学習において、身につけた既有知識を用い、自分の考えを他者の考えと比較し深化しながら、今後のアフリカについて根拠をもとにまとめることができる。

5. 生徒の既有知識、学習の予想

これまでに生徒達は、アフリカ州の自然環境の特色や歴史・文化・産業・課題については学習している。また、前時まで、アフリカの発展を考える学習を行い、協調学習を通して、産業や教育の視点から課題を考察できると思われる。しかし、アフリカの人々の生活の現状を偏ったイメージで認識していたり、教科書の内容だけでアフリカをとらえていたりする生徒がほとんどである。さらに自分の考えを表現することに苦手意識をもつ生徒が多く、パネルディスカッション活動は表現しやすく有効であると思われる。

本学習ではALTのテガ先生からアフリカの実情を聞くことで、アフリカの現実を知ることができ、課題に取り組みやすい生徒が多いと考えられる。今後のアフリカについて既習知識を使って考察することはできると考える。しかし友達の意見を違う視点から考えたり、反対意見や批判的思考で表現したりすることを難しく考える生徒が多いと考えられる。単元末のパフォーマンス課題に設定しているので、パネルディスカッション活動を通して、他者の考えと自らの考えを比較し、深化することや批判的思考をすることで、本時の課題も文章にまとめることができると考える。

6. 期待する解の要素（本時の最後に生徒が上記の課題に答えるとき、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための基準）

予想される解の例（A）

私は工業化の支援が必要だと思います。工業化が進むと、雇用が増え、親が働くことができるし、産業が発展することでアフリカのインフラ整備が進み、経済が発展するからです。経済が発展するとよりよい教育を受けることで、社会で活躍する人材が増え、アフリカ州の発展につながるから。

S	A	B
既習知識を使い明確な根拠を示し、課題に対しての実現可能な解決策を書いている。さらに未来を見据えた具体的なビジョンを書いている。	既習知識を使い明確な根拠を示し、課題に対しての実現可能な解決策を書いている。	明確な根拠を示し、課題に対しての答えを書いている。

7. 学習のデザイン

時間	学習活動	支援等
5分	1 課題を確認する。 （1）前時の授業内容の確認をする。 （2）本時の課題を確認する。	○本時の課題解決への意識を高めるため、前時の協調学習で学んだアフリカの現状を振り返らせる。 ○カメルーン出身（ALT）のテガ先生のアフリカについての説明を聞き、アフリカの現状をつかませる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <課題> 今後のアフリカについて考えよう。 </div>		
5分	2 個人で課題を考える。	○ワークシートを配布し、課題に対して根拠を明確にして考えを書くよう助言する。
25分	3 パネルディスカッションを行う。 ・席を移動し、準備をする。 ・司会によるテーマの確認をする。 ・ホワイトボードに課題に対する意見を書く。 ・パネリストによる意見の発表 ・パネリスト同士の意見交換・質問・意見	○電子黒板でテーマを示し、パネルに書かせる。 ・なぜ雇用が少ないのか？ ・安定した収入を得られる職業は？ ○時間配分に気を付けさせるため、パネルディスカッションの流れを掲示する。 ○友達の発表内容のすばらしいところなど気付いたことをメモさせる。 ○ホワイトボードを使いながら意見を発表させる。
10分	5 個人で課題についてまとめる。	○パネルディスカッション後の新しい考えの広がりや、既習内容を活用してまとめさせる。
5分	6 課題に対するまとめを行い、単元シートに本時の振り返りを記入する。	○意見の変容や考えの深まりが生まれたことに気づかせ、数名発表させる。

